SAP Concur リリース ノート **Concur Request Professional/Premium**	
月	**対象**
リリース日: 2021 年 9 月 18 日 英語版の投稿: 9 月 17 日金曜日 10:00 AM 太平洋時間	SAP Concur をお使いのお客様　**最終版**

目次

リリース ノート 1

認証 1

HMAC のサポートが廃止 1

認証管理 2

新しい会社リクエスト トークン セルフサービス ツール 2

Client Web Services（クライアント Web サービス） 6

「パートナー アプリケーションを登録」ページのアクティブ化終了 6

アプリケーション管理用のセルフサービス ツール 7

Concur Mobile アプリ 8

Android / iPhone / iPad – 「Concur Mobile の登録ページ」の更新 8

ファイル転送のアップデート 11

** 進行中 ** SSH キー認証による SFTP の必須化 11

** 進行中 ** SAP Concur 従来のファイル移動の移行 12

ファイル転送に使用可能なローテーション PGP 鍵 13

その他 15

Fiori ライト テーマを有効化する新しいアクセス許可 15

Concur Request の新 UI 20

** 進行中 ** Concur Request エンド ユーザー向けの最新のユーザー インターフェース (UI) .. 20

SAP Concur のプラットフォーム..... 23

** 進行中 ** 既存の Concur Request API（v1.0、v3.0、v3.1）の運用終了と廃止（2021 年 6 月 1 日）..... 23

テスト エンティティ 24

テスト エンティティで忘れられる権利が利用可能（9 月 10 日） 24

Web サービス管理者..... 25

** 進行中 ** アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードの文字数の要件の更新 25

今後の変更予定 28

ワークフロー..... 28

変更予定 外部検証およびワークフロー イベント通知..... 28

お客様へのお知らせ 35

アクセシビリティ 35

アクセシビリティの更新 35

サポートされているブラウザ 35

サポートされているブラウザおよびサポートの変更..... 35

リリース ノートおよびその他の技術文書 36

オンライン ヘルプ - 管理者 36

Concur サポート ポータル - 指定されたユーザー 37

ケース 38

ステータスを確認する手順 38

解決済のケース 39

法的免責事項

この提示物の内容は、SAP SE または SAP の関連会社の機密の専有情報であり、SAP SE またはそれぞれの SAP の関連会社の許可なく開示することはできません。この提示物は、SAP SE またはその関連会社とのライセンス契約またはその他何らかのサービス契約やサブスクリプション契約に拘束されることはありません。SAP SE およびその関連会社は、このドキュメントまたは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。このドキュメント、または関連の提示物、および SAP SE または SAP の関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、またはプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE およびその関連会社により随時、理由の如何を問わずに予告なしで変更される場合があります。このドキュメントに記載する情報は、何らかの具体物、コード、または機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。このドキュメントは、商業性、特定目的への適合性、または非侵害性の黙示的保証を含めて、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証をも伴うものではありません。このドキュメントは情報提供のみを目的としており、契約に取り入れられることはありません。SAP SE およびその関連会社は、SAP SE または SAP の関連会社の意図的な不当行為または重大な過失に起因する損害を除き、このドキュメントの誤記または脱落について一切の責任を負わないものとします。

将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

リリース ノート

認証

HMAC のサポートが廃止

この変更は、安全な認証を維持する SAP Concur の継続的な取り組みの一環です。

概要

ハッシュベースのメッセージ認証コード (HMAC) の SAP Concur サポートは廃止されました。

SAP Concur は、お客様の管理者が SAP Concur サポート担当者に依頼することなく SAMLv2 接続を設定可能にするシングル サインオン セルフサービス オプションを提供します。

📖 シングル サインオン セルフサービス オプションについて詳しくは、「シングル サインオン概要（製品共通）」および設定ガイド「シングル サインオン（製品共通）」をご参照ください。

NOTE: SAML v2 は、複数のアイデンティティ プロバイダ (IdP) の使用をサポートしています。

業務目的とユーザーへの利点

この変更により、SAP Concur の製品およびサービスにログインするユーザーに強化されたセキュリティおよび改善されたサポートを提供します。

設定とアクティブ化

HMAC は廃止され、今後設定できません。シングル サインオン セルフサービス オプションを使用できます。

📖 シングル サインオン セルフサービス オプションについて詳しくは、「シングル サインオン概要（製品共通）」および設定ガイド「シングル サインオン（製品共通）」をご参照ください。

認証管理

新しい会社リクエスト トークン セルフサービス ツール

概要

「**組織管理者**」または「**Web サービス管理者**」ロールが割り当てられた SAP Concur 管理者が新しい会社リクエスト トークン セルフサービス ツールを利用できるようになりました。

NOTE: Concur Standard のエンティティを使用している管理者の場合、「**管理可能**」のアクセス許可を持つユーザーは「**Web サービス管理者**」のロールを持っています。

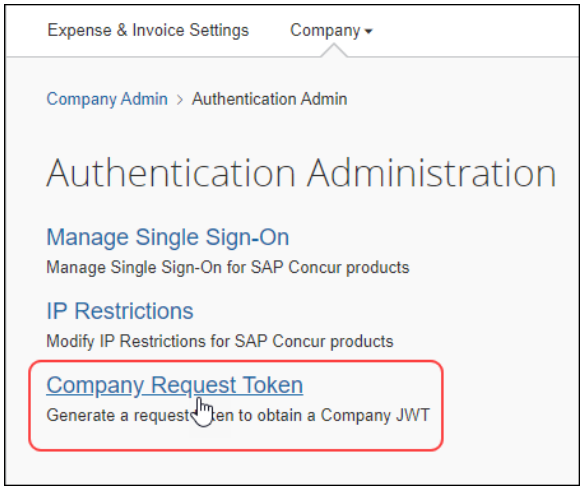
会社リクエスト トークン セルフサービス ツールを使用することで、SAP Concur プラットフォームで API に接続する際に JSON Web Token (JWT) を要求するために必要となる会社リクエスト トークンを生成できます。

業務目的とユーザーへの利点

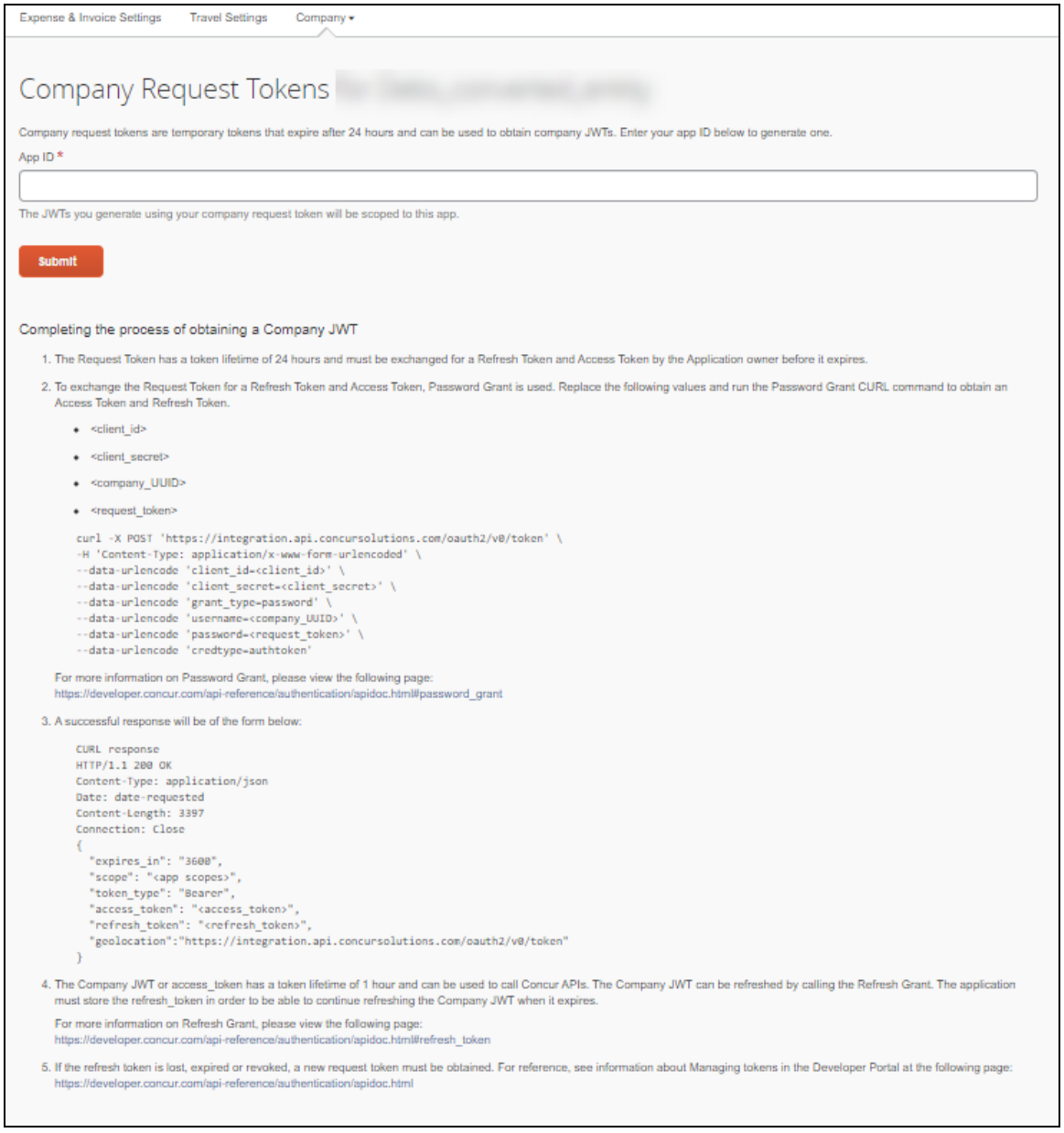
会社リクエスト トークン セルフサービス ツールにより、お客様は SAP Concur サポートに問い合わせることなく、会社リクエスト トークンを生成できるようになります。また、会社リクエスト トークンの有効期限が切れた場合や会社リクエスト トークンを紛失した場合に、SAP Concur サポートの支援を受けることなく、代替の会社リクエスト トークンを生成することもできます。

管理者への表示

必要なアクセス許可を持つ管理者には、**[管理] > [会社] > [認証管理]** ページに **[会社リクエスト トークン]** ページへのリンクが表示されます。



[会社リクエスト トークン] をクリックすると、**[会社リクエスト トークン]** ページが表示されます。

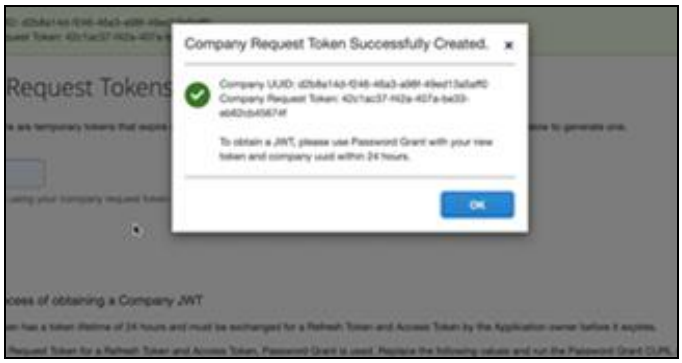


[会社リクエスト トークン] ページで、クライアント ID を **[アプリ ID]** フィールドに入力した後、**[送信]** をクリックします。

NOTE: 以下のいずれかの方法で、クライアント ID を取得できます。

- アプリケーション管理用のセルフサービス ツールへのアクセスを要求したお客様が SAP Concur Client Web Services をお持ちの場合は、セルフサービス ツールを使用してクライアント ID を生成できます。
  SAP Concur Client Web Services をお持ちではないお客様は、必要に応じて SAP Concur サポートに問い合わせてアプリ ID を取得できます。

[会社リクエスト トークンが作成されました] というダイアログが表示されます。



このダイアログに、会社 UUID と会社リクエスト トークンが表示されます。管理者はサインアウトまたはこのダイアログを閉じる前に、この会社 UUID と会社リクエスト トークンの両方をコピーし、保存する必要があります。

管理者はパスワード付与プロセスでこの会社リクエスト トークンを使用して、会社 JWT を生成できます。

パスワード付与プロセスの説明については、**[会社リクエスト トークン]** ページ、および SAP Concur 開発者ポータルをご参照ください。

会社リクエスト トークンの有効期限は 24 時間です。管理者は 24 時間以内に会社 JWT を取得する必要があります。

会社リクエスト トークンの有効期限が切れた場合や会社リクエスト トークンを紛失した場合は、再度 [会社リクエスト トークン] ページにアクセスして、クライアント ID を [アプリ ID] フィールドに入力した後、代替の会社リクエスト トークンを生成できます。

設定とアクティブ化

設定やアクティブ化を行う必要はありません。このページは、必要なアクセス許可を持つ管理者に対し自動的に利用可能になります。

📖 セルフサービス ツールを使用してクライアント ID を取得する方法について詳しくは、本ドキュメントの「アプリケーション管理用のセルフサービス ツール」のリリース ノートを参照してください。

Client Web Services（クライアント Web サービス）

「パートナー アプリケーションを登録」ページのアクティブ化終了

概要

8 月 21 日、**[パートナー アプリケーションを登録]** ページが非アクティブ化されました。

10 月のリリースでは、**[パートナー アプリケーションを登録]** ページが新しいアプリケーション管理セルフサービス ツールに置き換わります。

📖 詳細については、9 月最終版の製品共通の変更予定のリリース ノート（日本語）の「** 変更予定 ** アプリケーション管理用のセルフサービス」をご参照ください。

新しいセルフサービス ツールのリリースに先立って、SAP Concur Client Web Services をご利用のお客様は Client Web Services に問い合わせて新しいアプリケーションを登録できます。

SAP Concur Client Web Services をお持ちではないお客様も、必要に応じて SAP Concur サポートに問い合わせてアプリ ID を取得できます。

業務目的とユーザーへの利点

[パートナー アプリケーションを登録] ページは Oauth 1.0（レガシー）アプリケーションを作成するために使用されていました。Oauth 1.0 は、2017 年 2 月 4 日に廃止されています。

📖 Oauth 1.0 の廃止および Oauth 2.0 への移行に関する詳細については、SAP Concur 開発者ポータルをご参照ください。

新しいアプリケーション管理用セルフサービス ツールでは、Oauth 2.0 に準拠したアプリケーションを作成することができます。

設定とアクティブ化

[パートナー アプリケーションを登録] ページは、2021 年 8 月 21 日に自動的に読取専用に設定されました。

SAP Concur Client Web Services をご利用のお客様は、新しいアプリケーションの登録について Client Web Services にお問い合わせください。Client Web Services をご利用ではないお客様は、アプリ ID について SAP Concur サポートにお問い合わせください。

10 月のリリースでは、SAP Concur Client Web Services をご利用のお客様に対して、新しいアプリケーション管理ツールは Client Web Services チームが有効化できます。有効化すると、このツールは Web サービス管理者ロールを持つ管理者が使用できるようになります。

アプリケーション管理用のセルフサービス ツール

この機能は、本リリースの対象ではなくなりました。こちらのリリース ノートは、製品共通の変更予定のリリース ノート（日本語）に移動しました。

Concur Mobile アプリ

Android / iPhone / iPad – 「Concur Mobile の登録ページ」の更新

概要

9 月下旬に、**[Concur Mobile の登録]** ページが更新される予定です。更新された **[Concur Mobile の登録]** ページに移動するには、**[プロファイル] > [プロファイル設定] > [Concur Mobile の登録]** の順にクリックします。更新された **[Concur Mobile の登録]** ページには以下の 3 つの新しいセクションが含まれています。

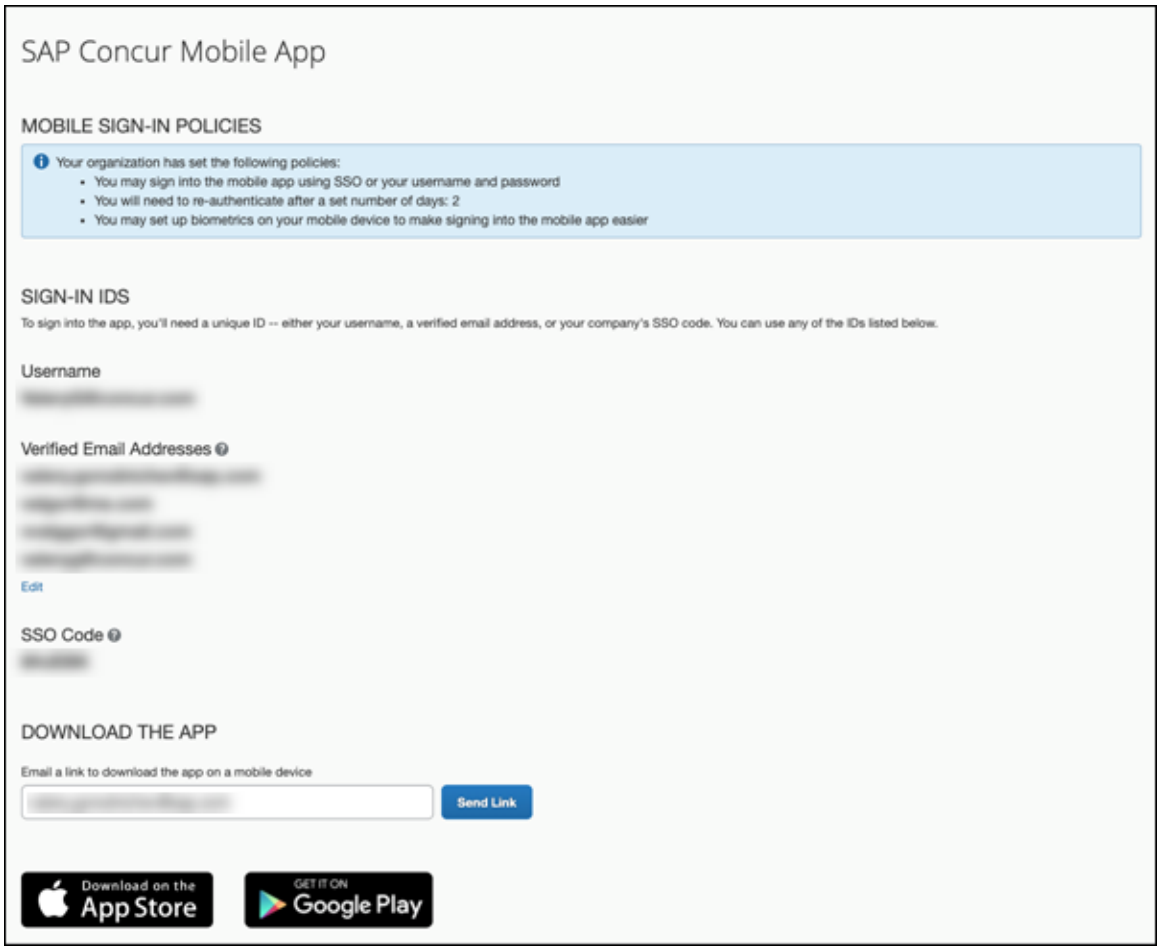
- モバイル サインイン ポリシー
- サインイン ID
- アプリケーションのダウンロード

業務目的とユーザーへの利点

[Concur Mobile の登録] ページの更新により、サインイン ID および組織のモバイル サインイン ポリシーに関する詳細情報をユーザーに提供します。

ユーザーへの表示

新しい CONCUR MOBILE の登録ページ

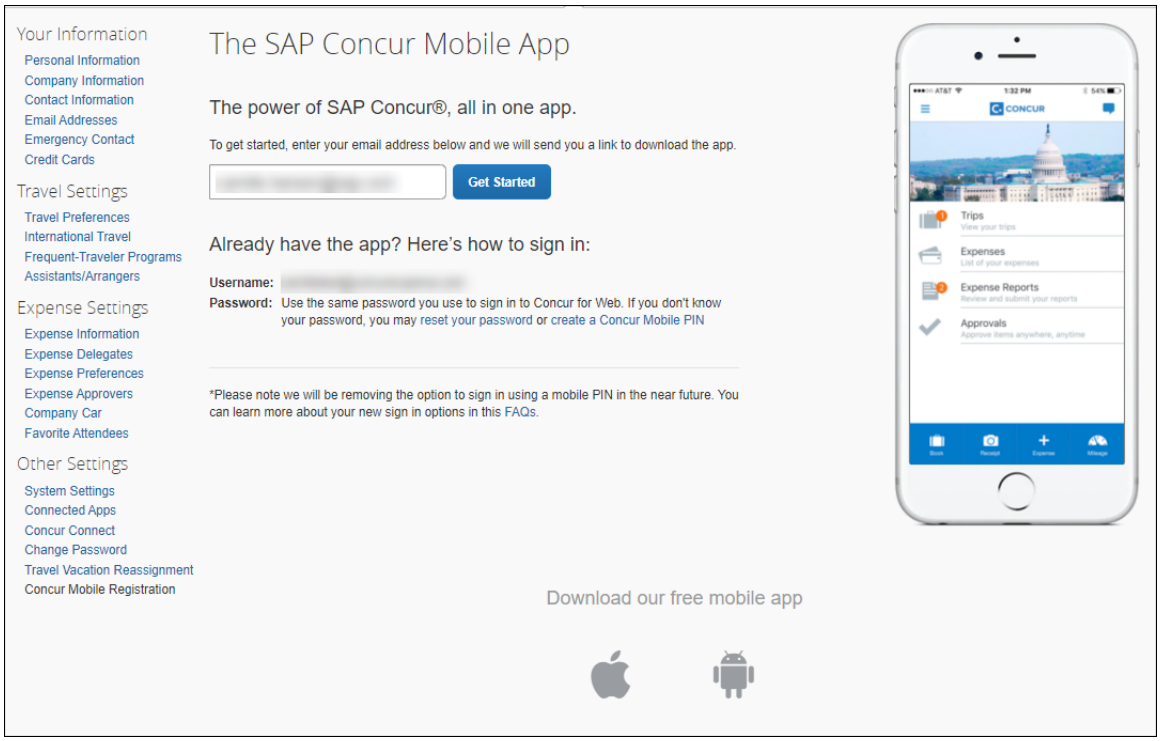


以下の新しいセクションは、更新された **[Concur Mobile の登録]** ページに次のように表示されます。

- **[モバイル サインイン ポリシー]:** このセクションには、組織が設定したモバイル サインイン ポリシーのリストを表示できます。
- **[サインイン ID]:** このセクションには、固有のサインイン ID を表示できます。これには、ユーザー名、確認済みメール アドレスや会社の SSO コードが含まれる場合があります。
    - **[編集]** をクリックして、サインイン ID の追加または削除します。

- **[アプリケーションのダウンロード]:** このセクションでは、次のいずれかの方法で SAP Concur モバイル アプリをお使いのモバイル端末にダウンロードできます。
  - 確認済みメール アドレスを **[モバイル デバイスにアプリをダウンロードするリンクを入力]** フィールドに入力してから **[リンクを送信]** をクリックしてダウンロード リンクをメールの受信ボックスに送信する。
    -または-
  - iOS の **[App Store]** ボタンをクリックする。
    -または-
  - Android の **[Google Play]** ボタンをクリックする。

既存の MOBILE の登録ページ



設定とアクティブ化

この機能は自動的に有効になります。その他の設定やアクティブ化は必要ありません。

ファイル転送のアップデート

** 進行中 ** SSH キー認証による SFTP の必須化

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2021 年 4 月 9 日	2021 年 4 月 16 日	2021 年 進行中
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

このリリース ノートは、SAP Concur 製品でのファイル送信を担当する技術スタッフを対象としています。さまざまなセキュア ファイル転送プロトコルを介したデータのやり取りを行っている SAP Concur のお客様と支払先向けに、SAP はこれらのファイル転送のセキュリティを強化するための変更を行っています。

2021 年 4 月 10 日、SFTP（セキュア ファイル転送プロトコル）以外のプロトコルと SFTP パスワード認証は、ファイル転送のために SAP Concur に接続することができなくなりました。

- 非 SFTP ファイル転送アカウントは、SSH キー認証による SFTP に切り替える必要があります。
- パスワード認証を使用する SFTP ファイル転送アカウントは、SSH キー認証に切り替える必要があります。
- SFTP パスワード リセット要求では、認証用の SSH キーを提供する必要があります。

! **重要**: SSH キー認証による SFTP を使用していない場合、ファイル転送接続の中断を避けるために対策を講じる必要があります。

2021 年 4 月 12 日に SAP は非準拠のファイル転送接続の無効化を開始しました。非準拠のアカウントを無効にするプロセスは 2021 年中続く予定です。複数のファイル転送接続が設定されている場合、この変更はすべてのファイル転送接続に適用されます。

このお知らせは、次のファイル転送 DNS エンドポイントに関するものです。

- st.concursolutions.com
- st-eu.concursolutions.com
- vs.concursolutions.com
- vs.concurcdc.cn

業務目的とユーザーへの利点

さらに強化されたファイル転送のセキュリティを提供します。

設定とアクティブ化

支援が必要な場合は、SAP Concur サポートまでお問い合わせください。

📖 さらに詳しい情報は、ユーザー ガイド「お客様やベンダー向けのファイル転送（製品共通）」をご参照ください。

** 進行中 ** SAP Concur 従来のファイル移動の移行

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2020 年 3 月 6 日	2021 年 7 月 9 日	2022 年 1 月 24 日まで継続
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

このリリース ノートは、SAP Concur でのファイル送信を担当する技術スタッフを対象としています。データのやり取りを行っているお客様と支払先に対し、SAP Concur はファイル転送サブシステムを維持して、ファイル転送のセキュリティを強化しています。

SAP Concur は、現在ファイルの移動に従来のプロセスを使用しているエンティティを API に依存するより効率的で安全なファイル ルーティング プロセスに移行しています。

現在、従来のプロセスを使用するようにエンティティを設定しているお客様は、現時点から 2022 年 1 月 24 日までの間に、より効率的なプロセスに移行されます。より効率的なプロセスに移行すると、次のような改善が見られます。

- 従来のプロセスでは、指定された時間にファイル移動スケジュールが実行されるのを待つ必要がありました。より効率的で安全な API ベースのプロセスにより、SAP Concur からの抽出およびその他の送信ファイルは、ファイルが作成された直後の既存の夜間処理期間内に利用可能になります。

このお知らせは、次のファイル転送 DNS エンドポイントに関するものです。

- st.concursolutions.com

業務目的とユーザーへの利点

これらの変更により、ファイル転送のセキュリティと効率が向上します。

設定とアクティブ化

支援が必要な場合は、SAP Concur サポートまでお問い合わせください。

📖 さらに詳しい情報は、ユーザー ガイド「お客様やベンダー向けのファイル転送（製品共通）」をご参照ください。

ファイル転送に使用可能なローテーション PGP 鍵

概要

SAP Concur 製品に転送するファイルは、SAP Concur の PGP 公開鍵 concursolutionsrotate.asc で暗号化する必要があります。

concursolutionsrotate.asc

- 鍵ファイルはお客様のルート フォルダに置かれています
- 鍵 ID 40AC5D35

- RSA 4096 ビットの署名および暗号化サブ鍵
- 鍵の有効期限は 2 年ごとです
- 有効期限が切れる前に鍵を交換する必要があります
    - 次回の有効期限: 2022 年 9 月 4 日
    - SAP Concur では、お客様のルート フォルダ内の現在のローテーション PGP 公開鍵を有効期限の 90 日前に交換する予定です

SAP Concur の従来の PGP 鍵（鍵 ID D4D727C0）は既存のお客様のためにサポートが保持されていますが、今後廃止の予定です。

SAP Concur は、ファイル転送により安全なローテーション PGP 公開鍵を使用することを強くお勧めします。ファイル転送に対するより安全なローテーション PGP 公開鍵の使用を促進するために、SAP Concur は 2021 年 1 月 15 日金曜日に既存のお客様のホーム フォルダに鍵を追加しました。

このお知らせは、次のファイル転送 DNS エンドポイントに関するものです。

- st.concursolutions.com
- mft-us.concursolutions.com
- vs.concursolutions.com
- st-eu.concursolutions.com
- mft-eu.concursolutions.com

業務目的とユーザーへの利点

ローテーション PGP 公開鍵により、ファイル転送のセキュリティが強化されます。

管理者への表示

必要なファイル転送資格情報を有する管理者がファイル転送サイトにログインして、ルート ディレクトリからローテーション PGP 公開鍵 concursolutionsrotate.asc を取得できます。

設定とアクティブ化

社内のファイル転送管理者が PGP の鍵束に鍵を追加することで、この鍵を使用して、SAP Concur に転送するファイルを暗号化できます。

支援が必要な場合は、SAP Concur サポートまでお問い合わせください。

📖 さらに詳しい情報は、ユーザー ガイド「お客様やベンダー向けのファイル転送（製品共通）」をご参照ください。

その他

Fiori ライト テーマを有効化する新しいアクセス許可

概要

9 月 20 日、新しいアクセス許可である「**SAP Fiori テーマのプレビュー**」が Concur Travel Professional Edition のアクセス許可リストに追加されます。「**SAP Fiori テーマのプレビュー**」のアクセス許可がユーザーに割り当てられると、SAP Concur サイトのヘッダーに新しいスイッチが表示されます。また、**[新しいテーマ]** 情報アイコンも表示されます。

スイッチを使用すると、ユーザーは SAP Concur 標準テーマを SAP Fiori テーマに切り替えることができます。情報アイコンはスイッチに関する短いメッセージを表示します。

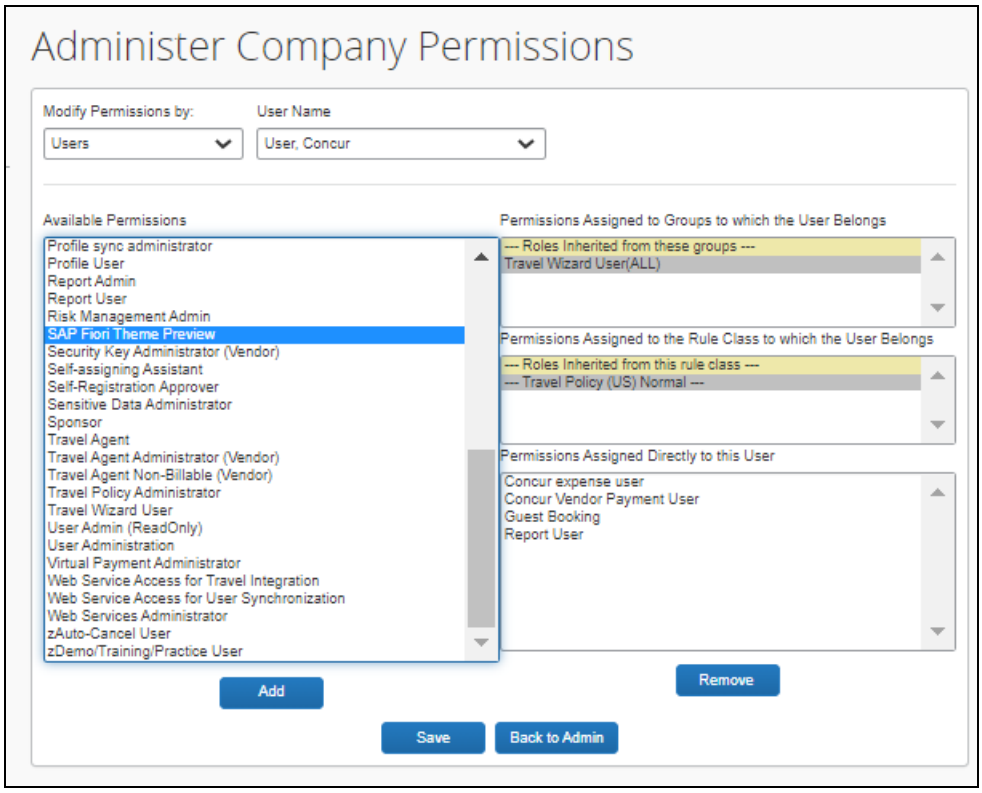
新しいテーマにはフォント、色やアイコンなどの視覚要素の変更が含まれます。また、一部の上位タブおよびメニュー項目は **[SAP Concur ホーム]** メニューに移動されました。これらの変更はサイト全体で行われており、ユーザーのすべての SAP Concur 製品に適用されています。

業務目的とユーザーへの利点

SAP Fiori テーマは SAP Concur UI の外観と操作性をほかの SAP 製品と調和させ、より一貫したユーザー操作を提供します。このアクセス許可により、お客様の管理者は指定したユーザーが SAP Fiori テーマをプレビューして、テストを実施できるようにすることができます。

管理者への表示

[会社のアクセス許可を管理] ページへのアクセス権を持つ管理者には、**[利用可能なアクセス許可]** リストに **[SAP Fiori テーマのプレビュー]** アクセス許可が表示されます。



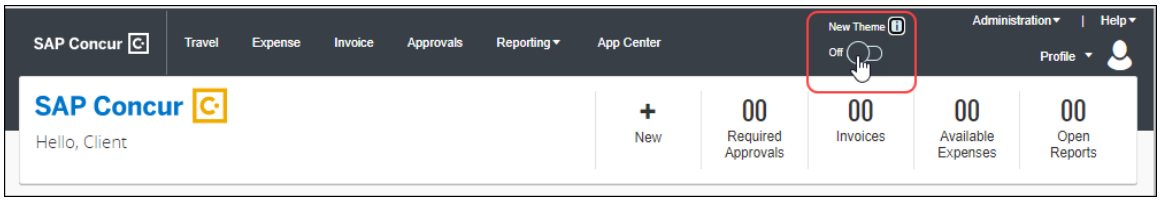
- **SAP Fiori テーマのプレビューのアクセス許可をユーザーに割り当てるには:**

1. **[アクセス許可の修正]** リストで、[ユーザー] をクリックします。
2. **[ユーザー名]**リストで、アクセス許可を割り当てるユーザーを選択します。
3. **[利用可能なアクセス許可]** リストで、**[SAP Fiori テーマのプレビュー]** を選択します。
4. **[追加]** をクリックし、次に **[保存]** をクリックします。

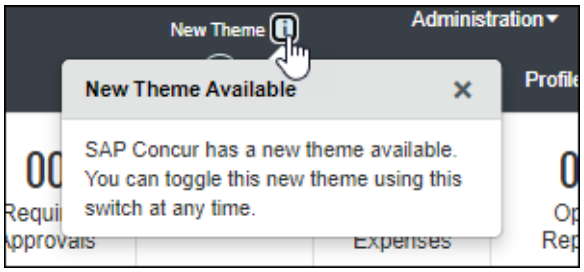
   次回、ユーザーが SAP Concur サイトにサインインしたときに、新しいスイッチが表示されます。

ユーザーへの表示

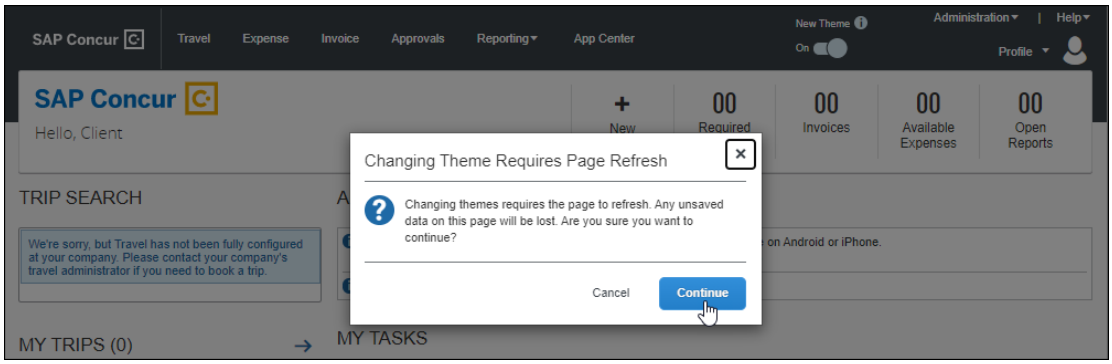
SAP Fiori テーマのプレビューのアクセス許可がユーザーに割り当てられた後、ユーザーが次に SAP Concur サイトにサインインすると、スイッチと **[新しいテーマ]** 情報アイコンが表示されます。



情報アイコンをクリックすると、短い説明が表示されます。

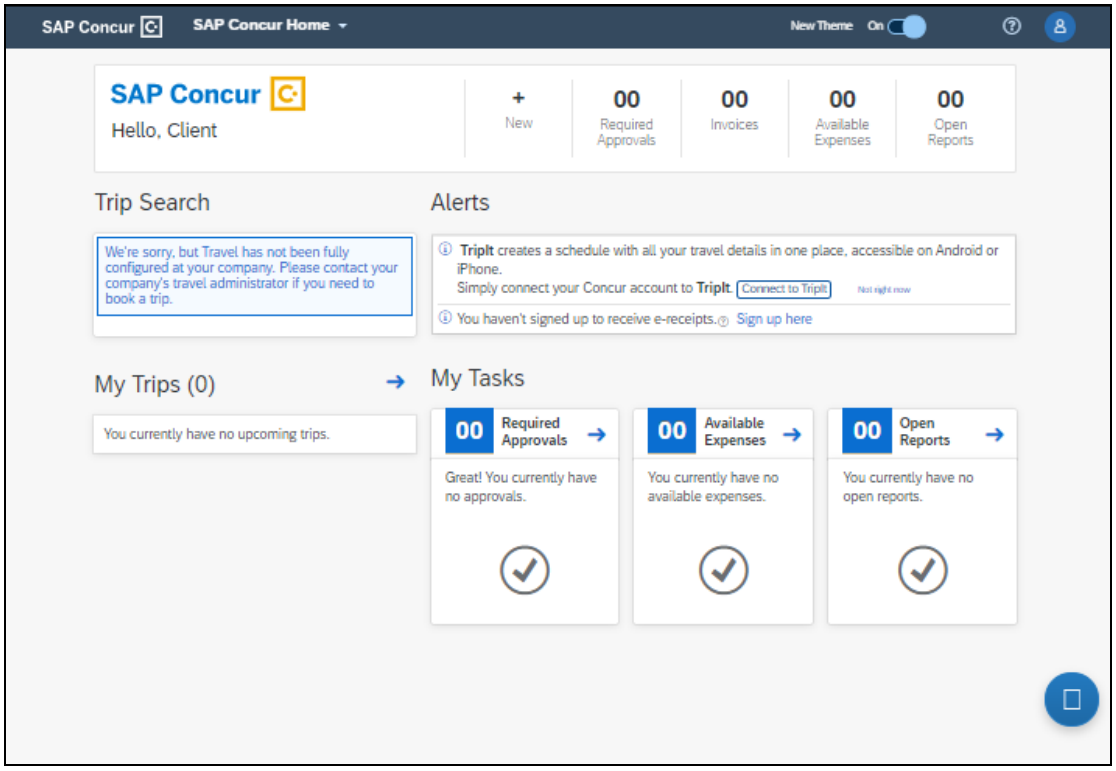


ユーザーがスイッチを **[オン]** に切り替えると、次のメッセージが表示されます。

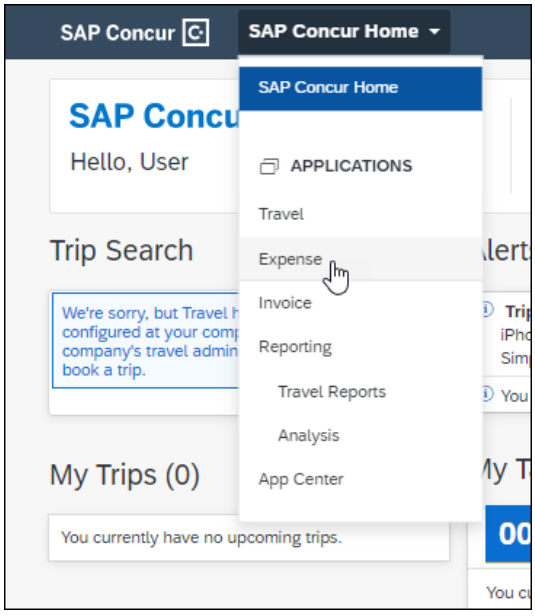


NOTE: スイッチを **[オン]** から **[オフ]** に切り替えた場合にも、メッセージが表示されます。

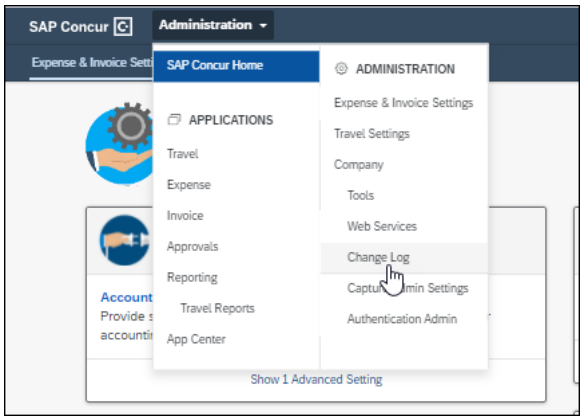
ユーザーが **[続行]** をクリックすると、ページが更新され、SAP Fiori テーマに設定されます。



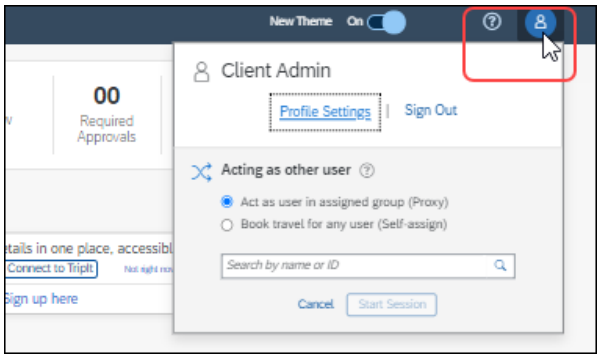
SAP Fiori テーマでは、製品のタブが **[SAP Concur ホーム]** メニューに移動しています。



ユーザーが管理者アクセス許可を持っている場合、**[SAP Concur ホーム]** リストに **[管理]** メニューのコンテンツも表示されます。



ユーザーにはアイコンの変更も表示されます。たとえば、**[ヘルプ]** メニューの見出しおよび **[プロファイル]** ダイアログ ボタンがアイコンに変更されています。



設定とアクティブ化

[会社のアクセス許可を管理] ページのアクセス権を持つ管理者は、新しい **[SAP Fiori テーマのプレビュー]** アクセス許可を指定したユーザーに割り当てることができます。

Concur Request の新 UI

** 進行中 ** Concur Request エンド ユーザー向けの最新のユーザー インターフェース (UI)

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2019 年 11 月	2021 年 9 月 17 日	2022 年 10 月 1 日
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

Concur Request ソリューションのユーザー インターフェースは、考え抜かれた設計と調査によって継続的な進化を遂げており、申請処理において時代に合った直感的で合理的な操作性を提供しています。

Concur Request をお使いのお客様には、**2022 年 10 月 1 日**の自動移行日までに十分な時間の余裕を持って新 UI の事前確認を行い、それから移行することを強くお勧めします。

業務目的とユーザーへの利点

これにより、新 Concur Request のユーザー インターフェースに、最新で一貫性のある合理的なユーザー操作を提供しています。このテクノロジにより、改善されたユーザー インターフェースの提供にとどまらず、お客様の変更のご要望にさらに迅速にお応えすることができます。

影響を受ける製品およびユーザー

これらの改善を活用するために、Concur Request ユーザーが 2022 年 10 月 1 日までに移行しない場合は自動的に Concur Request の新 UI に移行されます。以下は、この処理をすべてのユーザーにスムーズかつ効率的にご利用いただくためのスケジュールおよびリソースの情報です。

これらの UI （ユーザー インターフェース）の変更は以下に適用されます。

- Concur Request（Professional/Premium および Standard）のエンド ユーザー

NOTE: 管理者に対する変更はありません。

重要スケジュールおよびマイルストーン

既存の UI から新 UI に移行するにあたり、Concur Request をお使いのお客様には 3 つの重要なマイルストーンがあります。

- **オプトイン期間: 2020 年 7 月 – 2021 年 9 月**

  このマイルストーンは、計画されているほぼすべての機能、および全体的な品質と安定性を提供するためのものです。

  この期間を活用して移行について計画し、ビジネスにおける優先事項上適している場合は、Concur Request 新 UI に移行してください。残りの機能の一部はこの期間中にご利用できるようになるため、お客様はそれに応じてロールアウトを計画する必要があります。

  ! **重要:** 新 UI が有効になると、Concur Expense と Concur Request の両方で自動的に新 UI が有効になります。

- **有効移行期間:** 2021 年 10 月 – 2022 年 9 月

  これは、お客様が自動移行日前に移行を完了できるようにお約束していた 12 ヶ月の事前通知期間です。

  お客様は、組織のスムーズな移行を確実にするために必要なタスクを完了し、有効移行期間中に移行することを強くお勧めします。

- **自動移行日:** 2022 年 10 月 1 日

  すべてのお客様が新 UI に自動的に移行されます。これは、当社がすべてのお客様に対し一貫性のあるユーザー操作およびより良い製品への改革やサポートを継続して提供することを保証します。

移行資料 - ガイドおよびその他のリソース

当社はこの移行をサポートするために、複数のガイド、FAQ、リリース ノート、およびその他のリソースを準備しています。組織の移行の開始に必要なすべての情報については、以下よりご確認ください。

- Professional Edition
- Standard Edition

上記のリンクは以下へのアクセスを含んでいます。

- **管理者ガイド、FAQ、移行リソース:** 管理者ガイドは 新 UI へのアクセス、および必要なロールやアクセス許可についての情報を提供します。

  管理ガイド、FAQ、およびその他のリソースに加えて、Concur Request の新 UI ではまだ利用可能ではない機能のリストがあります。これらは、お客様のユーザー向けに準備する際に便利です。

  NOTE: トレーニングのために、管理者ガイドおよびエンド ユーザー ガイドを「そのまま」使用できます。または、トレーニング資料を作成する際にその一部を使用できます。お客様はご自由に、切り取り、コピー、貼り付け、削除、または編集が可能です。

- **エンド ユーザー ガイド:** このガイドは既存の UI と Concur Request の新 UI を比較し、ユーザーが新しい操作に親しむために役立ちます。新 UI は改善中のため、このガイドは新 UI のオプトイン期間中に必要に応じて更新されます。管理者はこのガイドを頻繁にご確認ください。

  NOTE: 管理者ガイドのように、組織内でこのガイドの切り取り、コピー、貼り付け、削除、または編集を自由に行っていただけます。

- **リリース情報:** 有効移動期間中は、改善に関するリリースは定期リリース スケジュールに**含まれません**。代わりに、特別なリリース ノートを発行し、機能および改善についての情報を近々のリリースで提供予定です。

ご利用の前に

上記の移行資料をご確認の上、移行の計画を立てることをお勧めします。

SAP Concur のプラットフォーム

** 進行中 ** 既存の Concur Request API（v1.0、v3.0、v3.1）の運用終了と廃止（2021 年 6 月 1 日）

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2020 年 6 月	2021 年 6 月 11 日	2021 年 6 月 1 日
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

2021 年 5 月 31 日の時点で、既存の Concur Request API（v1.0、v3.0、および v3.1）は廃止されました。2021 年 6 月 1 日に、SAP は SAP Concur API Lifecycle & Deprecation Policy に従ってこれらの API の廃止を開始しました。これらの API は、Concur Request v4 API に置き換えられます。廃止後、SAP ではこれらの API が非サポートとなります。

v1.0、v3.0、および v3.1 API の廃止は、API の運用終了から 3 か月後に開始されます。廃止の具体的な日付は、個々のお客様の API の移行状況によって異なります。

v1.0、v3.0、v3.1 の API タイムライン:

- 非推奨 – 2020 年 3 月 1 日～2021 年 5 月 31 日
- 運用終了 – 2021 年 6 月 1 日～2021 年 11 月 30 日
- 廃止 – 運用終了状態になってから 3 か月間非アクティブが続くと開始されます

業務目的とユーザーへの利点

Concur Request API v1.0、v3.0、および v3.1 は、以前の認証方法のみをサポートしています。これは、セキュリティのベストプラクティスではなく、Oauth2 のスタンダードを満たしていません。さらに、Concur Request API の以前のバージョンでは、承認ワークフローを介して申請を移動したり、カスタム シンプル リストフィールドと連結リスト フィールドを管理したりする可能性が限られていました。これらの問題は、新しい Concur Request v4 API で解決されます。

さらに、SAP は、以前のバージョンで管理されていた使用例の大半を Concur Request v4 API でも管理するために、現在の Concur Request API と新しい Concur Request v4 API（iso 互換ではない）の間で下位互換プロジェクトを実行しました。

テスト エンティティ

テスト エンティティで忘れられる権利が利用可能（9 月 10 日）

概要

一般データ保護規則 (GDPR) の遵守要件に従い、お客様は実装（テスト）エンティティのユーザーのために**忘れられる権利 (RTBF)** を依頼するサポート チケットを送信することができます。データ保持管理者はこの文書に記載されたステップに従って、テスト エンティティからユーザーを消去できます。

業務目的とユーザーへの利点

この機能強化は GDPR 遵守に関する SAP Concur 要件の一環です。

設定およびアクティブ化

- **テスト エンティティからユーザーのデータを消去するには:**

1. 指定したユーザーのデータが運用環境から削除されていることを確認します。

2. SAP Concur サポートにチケットを送信して、お客様に実装されるテスト環境からユーザーを削除する機能をリクエストします。

3. その機能が有効化されたことを SAP Concur から確認が取れ次第、ユーザー ガイド「データ保持（製品共通）」の「特定のユーザーのデータを削除する」のステップに従って、指定のテスト エンティティからユーザーのデータを削除します。

4. Concur サポートに連絡し、作業の完了を伝えます。

5. Concur サポートは確認が取れ次第チケットをクローズし、テスト エンティティからユーザーを削除する機能を無効にします。

📖 詳細情報については、設定ガイド「データ保持（製品共通）」およびユーザー ガイド「データ保持（製品共通）」をご参照ください。

Web サービス管理者

** 進行中 ** アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードの文字数の要件の更新

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2021 年 6 月 18 日	2021 年 9 月 18 日	2021 年の今後のリリース
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

新しいセキュリティ要件を満たすには、アプリケーション コネクタに関連付けられているユーザー名とパスワードの文字数は 10 文字以上 50 文字以内にする必要があります。

一部のお客様には現在、これらのパラメータを満たさないユーザー名とパスワードが設定されています。今後のリリースでは、これらのパラメータは強制要件になります。

アプリケーション接続によるコールアウトの中断を回避するには、これらの要件を満たしていないユーザー名とパスワードを、本変更が実装されるまでに更新する必要があります。アプリケーション接続によるコールアウトの中断を回避するには、この変更を実装する前に、これらの要件を満たさないユーザー名とパスワードを更新する必要があります。

アプリケーション接続のユーザー名とパスワードは、組織管理者または Web サービス管理者のロールを持つ管理者が更新できます。

NOTE: Standard のエンティティを使用している管理者の場合、Concur Expense の「**管理可能**」のアクセス許可を持つユーザーは Web サービス管理者のロールを持っています。

業務目的とユーザーへの利点

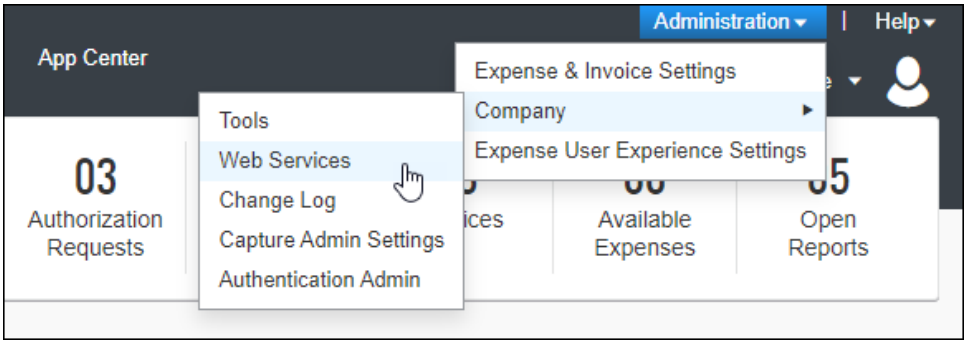
パスワードとユーザー名の文字数制限を適用すると、アプリケーション コネクタを介して行われるコールアウトのセキュリティ標準が向上します。

設定とアクティブ化

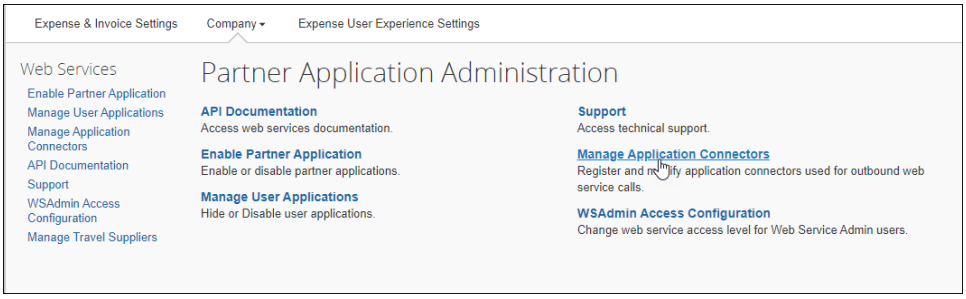
アプリケーションコ ネクタのユーザー名とパスワードは、**[アプリケーション コネクタを管理]** ページで設定できます。

アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードを変更するには、次の手順に従います。

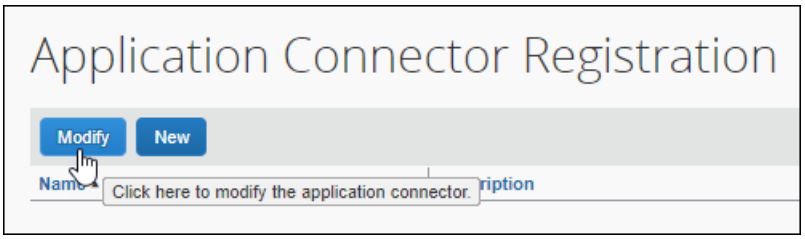
1. **[管理] > [会社] > [Web サービス]** をクリックします。



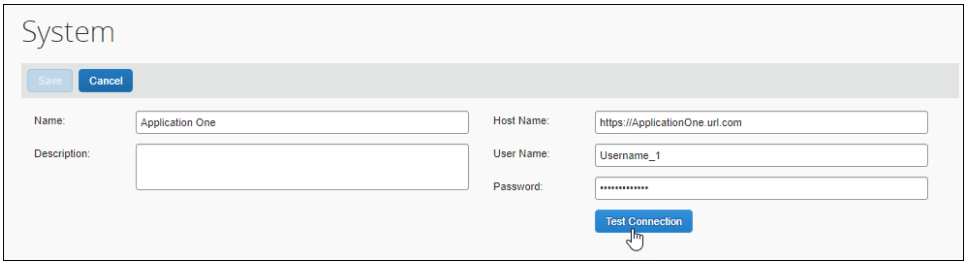
2. **[アプリケーション コネクタを管理]** をクリックします。



3. 更新するアプリケーション コネクタを選択し、**[変更]** をクリックします。



4. 新しいユーザー名とパスワードを入力し、**[テスト接続]** をクリックします。



5. **[保存]** をクリックします。

NOTE: アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードを更新した後、アプリケーション コネクタをコールアウト サービスに使用する前に、**[テスト接続]** をクリックして変更を確認する必要があります。

📖 詳細については、SAP Concur Developer Center の「Callouts and Application Connectors」のドキュメントを参照してください。

今後の変更予定

このセクションの項目は、今後リリース予定のものです。SAP は、ここに記載されている拡張機能/変更の実装の延期または完全削除の権利を保有するものとします。

重要: これらの変更予定は、この SAP Concur 製品またはサービスに影響を与える今後の拡張および変更のすべてが記載されていない場合があります。複数の SAP Concur 製品やサービスに適用される変更予定は、統合ドキュメントに記載されています。製品共通の変更予定のリリース ノート（日本語）で、利用可能なその他の変更予定をご確認ください。

ワークフロー

変更予定 外部検証およびワークフロー イベント通知

情報の初回公開日	最終更新日	機能のリリース予定日
2021 年 8 月	--	2021 年 10 月
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。		

概要

2021 年 10 月のリリースでは、Concur Request は SAP Concur 管理者がワークフローのステップ レベルでイベント通知を設定できる機能を導入する予定です。外部通知に設定されたワークフローの特定のステップに申請が到達すると、サード パーティーのアプリケーションが該当する申請で必要なアクションを完了するように促します。

業務目的とユーザーへの利点

サード パーティー アプリケーションを対象にワークフロー全体で複数のステップに通知を作成することができるため、SAP Concur 管理者はより柔軟に対応できるようになります。

お客様には申請が Concur Request のワークフローを進んでいくのと並行して発生する必要のある使用ケースやビジネス プロセスがあります。イベント通知は、申請が適時承認されるようにするために、そのようなプロセスを開始する効率的な方法です。

SAP Concur 管理者への表示

[ワークフロー] ページ（**[管理] > [事前申請] > [申請管理] > [ワークフロー]**）の **[ワークフロー]** タブで、SAP Concur 管理者はイベント通知を設定します。

ユーザーへの表示

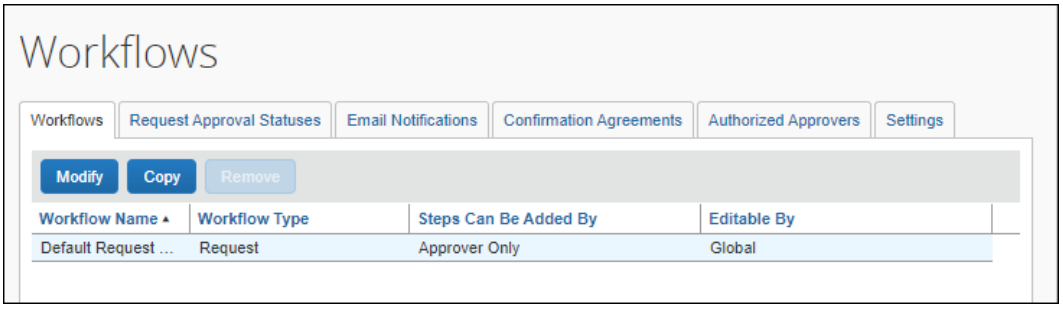
イベント通知の受信や応答はサードパーティー アプリケーションの基になるコード内で行われるため、ユーザーは通知を目にすることはなく、また、メールやアラートに応答する必要はありません。

設定とアクティブ化

SAP Concur 管理者は **[ワークフロー ステップの修正]** ページでワークフロー ステップの条件を修正することで、ワークフロー ステップのイベント通知を設定します。

イベント通知を設定するには

1. **[管理] > [事前申請] > [申請管理] > [ワークフロー]** をクリックします。**[ワークフロー]** ページが **[ワークフロー]** タブ上で開きます。

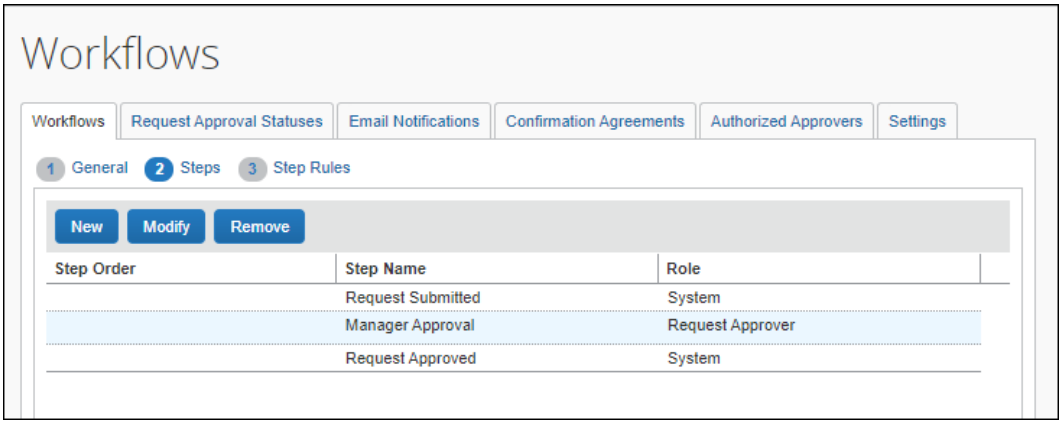


2. 修正するワークフローを選択します。選択すると、行が青に変わり、**[修正]** ボタンが使用できるようになります。

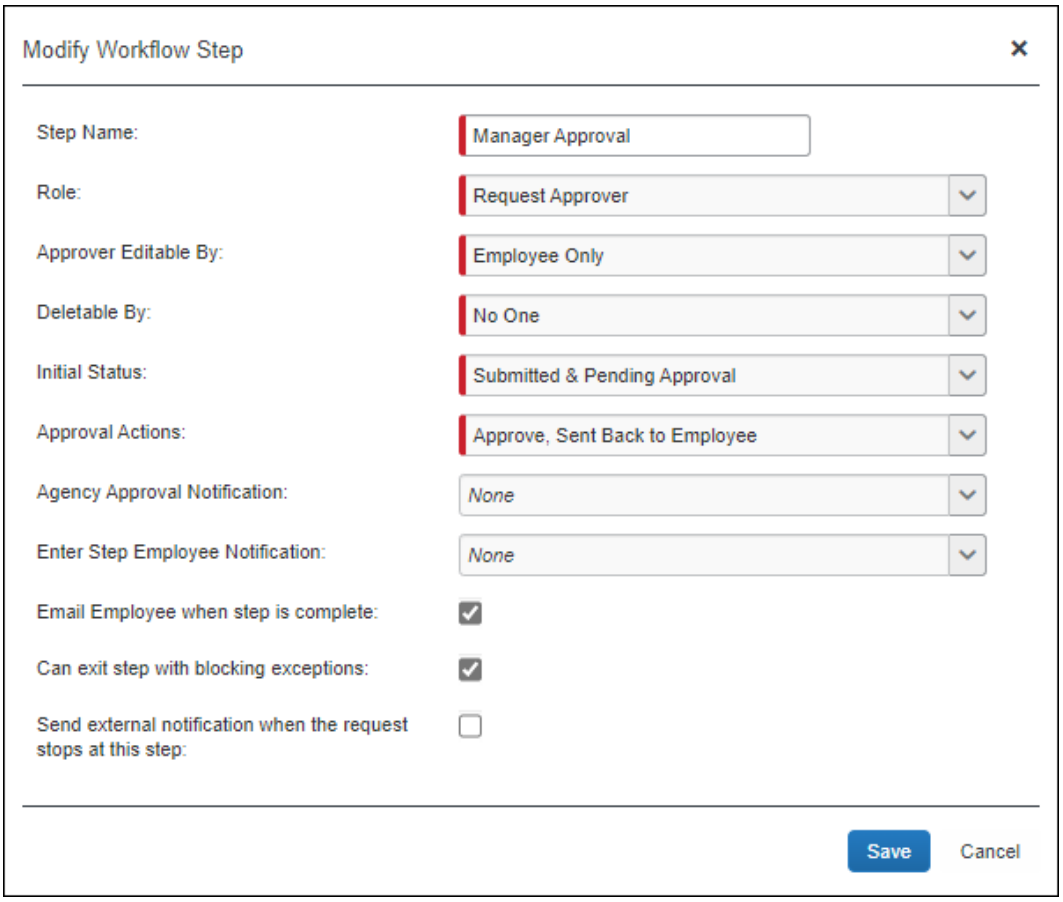
3. **[修正]** をクリックします。

4. **[ステップ]** をクリックして、**[ワークフロー]** タブの **[ステップ]** セクションを開きます。

5. 外部通知を作成するステップを選択します。選択すると、そのステップの行が強調表示されます。

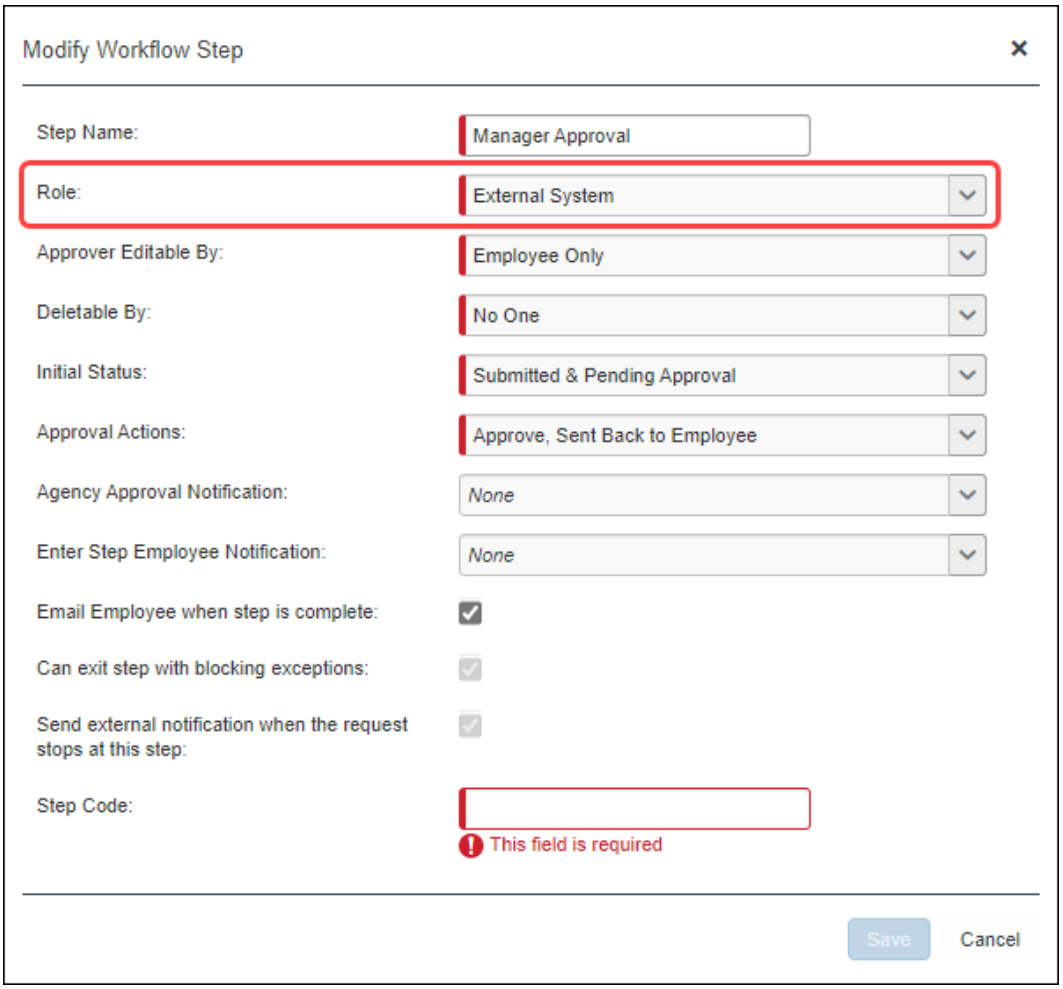


6. **[修正]** をクリックします。**[ワークフロー ステップの修正]** ページが開きます。



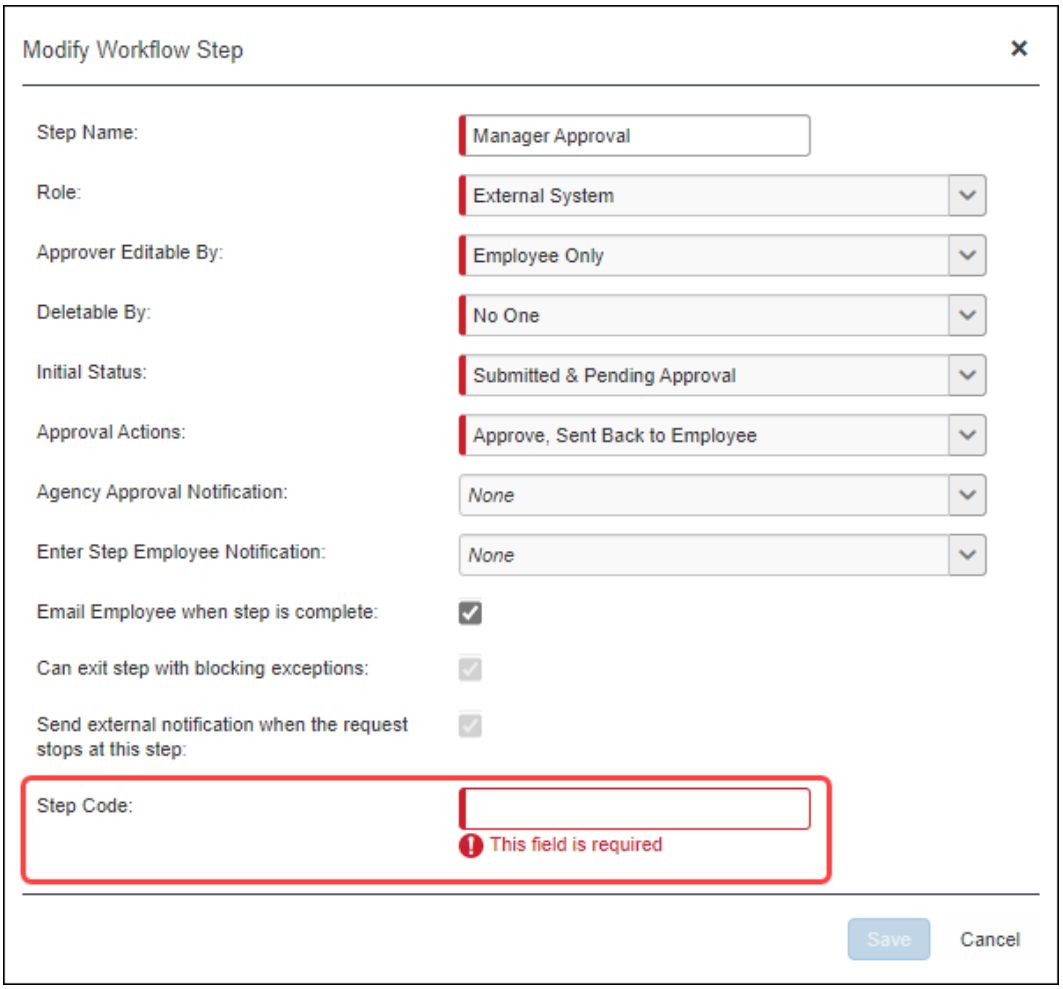
NOTE: [申請がこのステップで停止したときに外部通知を送信する] オプションは、ワークフローで修正できるステップのみに使用できます。

7. **[ロール]** リストで [外部システム] を選択します。



NOTE: 外部システム ロールが選択されると、SAP Concur 管理者は、外部検証ステップとして抽出する前にワークフロー ステップを設定できるようになります。また、ワークフロー ステップはワークフローのステップの順番に限定されなくなったため、上下に移動させることができます。

[外部システム] を選択すると、**[ステップコード]** フィールドが表示されます。

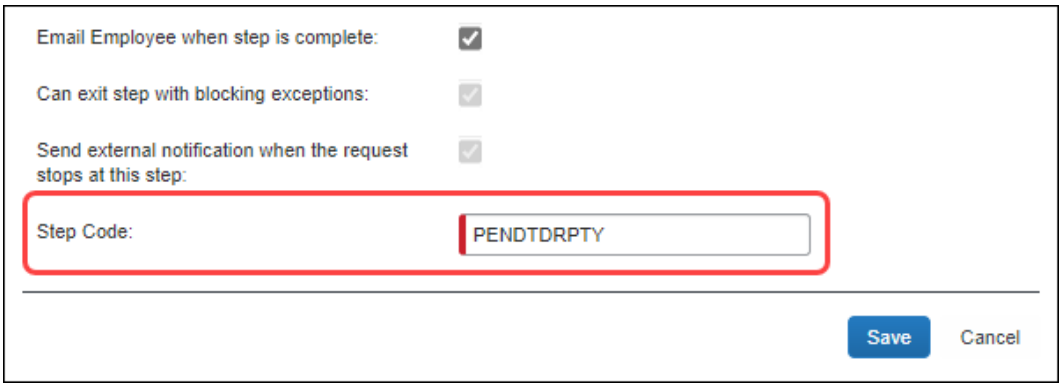


ステップコードは、この特定のステップの通知を受信したときにサードパーティー システムがアクションを実行するためのフィルタとして機能します。お客様は、ビジネス ニーズに応じて **[ステップコード]** を定義します（たとえば、保留中のサードパーティーの承認に PENDTRDPTY)。

8. **[ステップコード]** フィールドに業務目的を入力します。

   [ステップコード] は、サードパーティー アプリケーションが受け取る通知メッセージのイベント スキームに属性として表示されます。一意のステップコードを使用して通知に複数のワークフロー ステップが設定される場合、特定のワークフロー ステップのイベントをフィルタするためにステップコードを使用できます。次の例では、**PENDTRDPTY** はサードパーティー承認のイベントに相当します。

   NOTE: [ステップコード] フィールドは 10 文字に限定されています。



9. **[保存]** をクリックします。ワークフロー ステップは、申請がワークフローで該当するステップに達したときに外部通知を送信するように設定できるようになりました。

📖 10 月のリリースでは、イベント通知のイベント スキームの詳細に関する情報が設定ガイド「Concur Request: ワークフロー - 概要」に追加されます。

お客様へのお知らせ

アクセシビリティ

アクセシビリティの更新

SAP は、現在の Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) に合わせて変更を実装します。SAP Concur ソリューションに対するアクセシビリティ関連の変更については、四半期ごとに公開しています。四半期ごとの更新は、「アクセシビリティの更新」ページで確認できます。

サポートされているブラウザ

サポートされているブラウザおよびサポートの変更

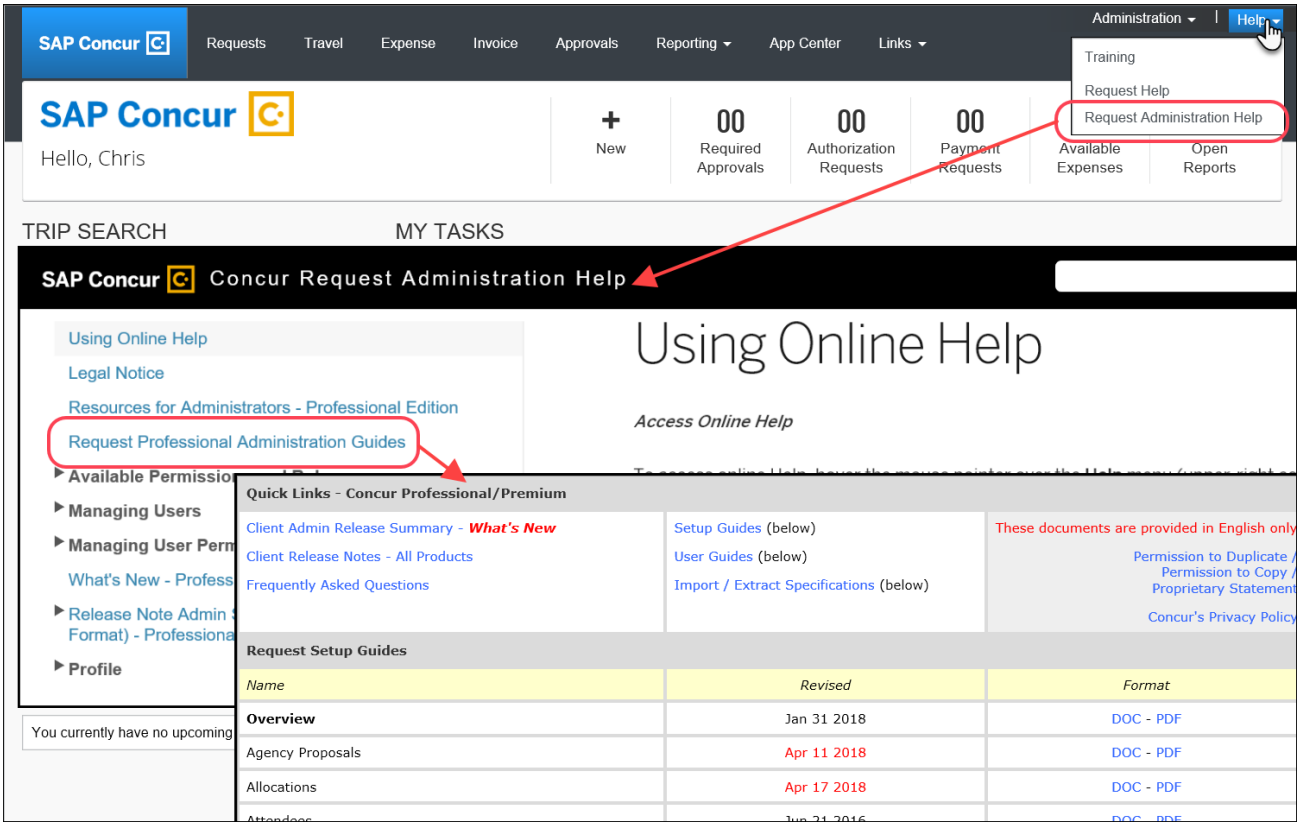
サポートされているブラウザ、およびサポートされているブラウザに予定されている変更については、「Concur Travel & Expense Supported Configurations」ガイドをご参照ください。

ブラウザのサポートに変更が予定されている場合、変更に関する情報が 製品共通の変更予定のリリース ノート（日本語）でも提供されます。

リリース ノートおよびその他の技術文書

オンライン ヘルプ - 管理者

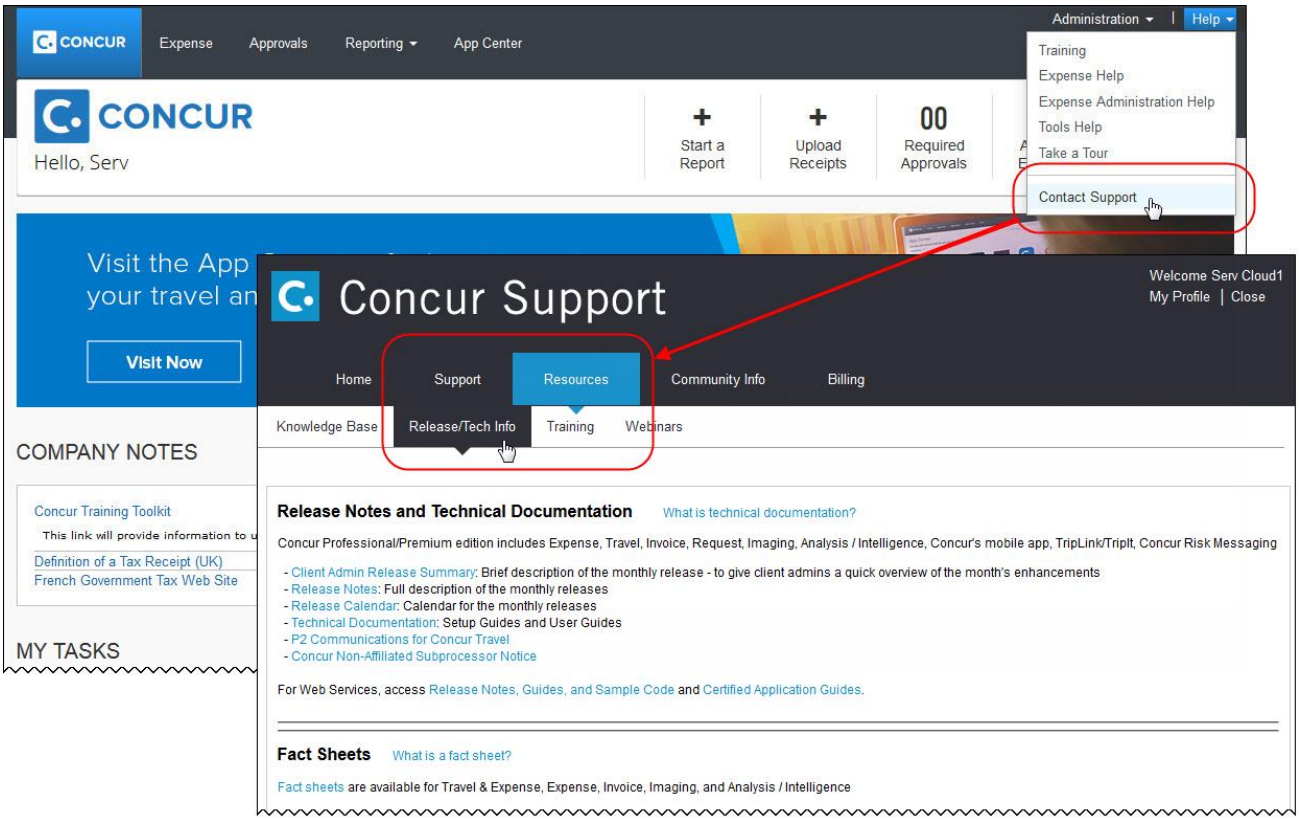
管理者ロールを持つユーザーは、オンライン ヘルプを使ってリリース ノート、設定ガイド、ユーザー ガイド、管理者向けのサマリー、月次のブラウザ認証、推奨環境、およびその他のリソースにアクセスできます。



Concur サポート ポータル - 指定されたユーザー

指定されたユーザーは SAP Concur サポート ポータルを経由して、リリース ノート、設定ガイド、ユーザー ガイド、管理者向けのサマリー、月次のブラウザ認証、推奨環境、およびその他のリソースにアクセスすることができます。

適切な SAP Concur サポート ポータルへのアクセス許可があれば、**[ヘルプ]** メニューに **[サポートへのお問い合わせ]** オプションが表示されます。**[ヘルプ] > [サポートへのお問い合わせ]** をクリックします。[サポート] ページで、**[リソース] > [リリース / 技術情報]** をクリックしてください。



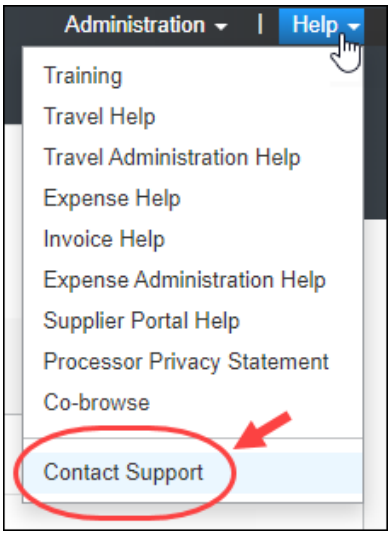
ケース

ステータスを確認する手順

各サービス リリースでは、ケースが解決している場合があります。

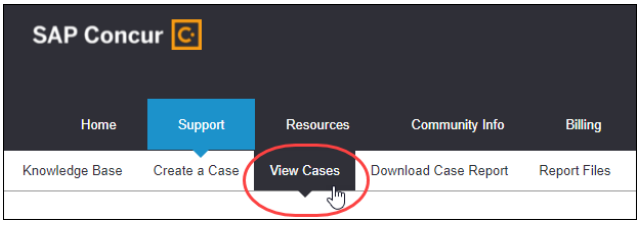
提出したケースのステータスを確認するには

1. https://concursolutions.com/portal.asp にログオンします。
2. [ヘルプ] > [サポートへのお問い合わせ] をクリックします。

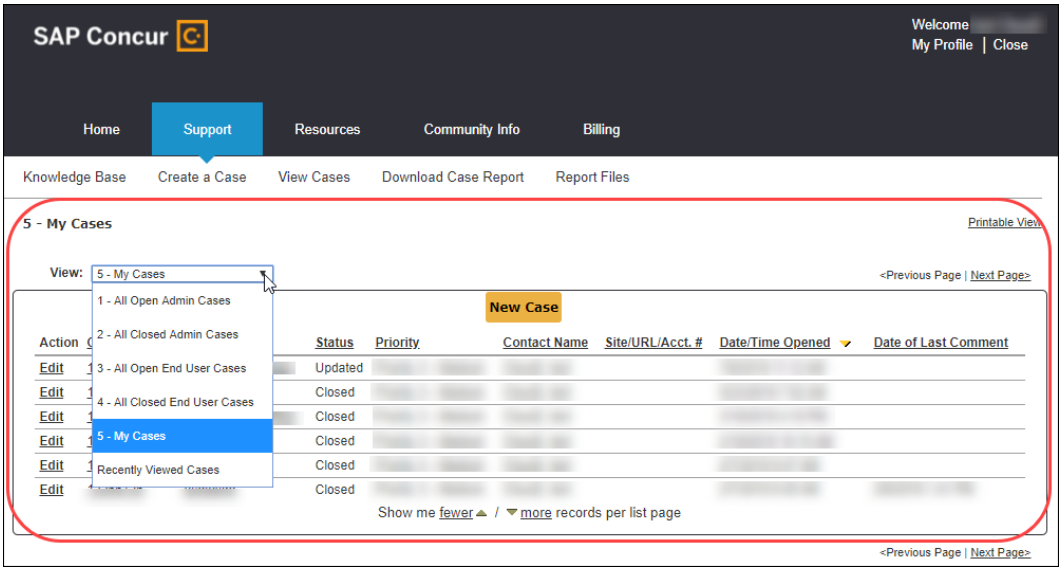


NOTE: **[ヘルプ]** メニュー下に [SAP Concur　サポートへのお問合せ] オプションがない場合は、お客様の会社内でサポートを行うよう設定されています。社内のサポート デスクにお問い合わせください。

3. **[サポート] > [ケースを表示]** をクリックします。



4. 表で、**[表示]** リストの選択に基づいて、目的のケースのタイプを表示します。検索結果は、ご自身の会社のケースに限定されています。



解決済のケース

ケース ID	説明
2021 年 9 月のリリースで解決済のケースはありません。	

© 2021 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE または SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製または伝送することはできません。

本書に記載される SAP およびその他の SAP 製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP SE（または SAP の関連会社）の商標または登録商標です。商標に関する詳細や通知については、http://global12.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx をご覧ください。

SAP SE およびその流通業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、ほかのソフトウェア業者の専有ソフトウェア コンポーネントが含まれています。

製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明または保証はなく、情報提供のみを目的として、SAP SE または SAP の関連会社によって提供され、SAP SE またはその関連会社はこれら文書に関する誤記や脱落に対する責任を負うものではありません。SAP SE または SAP の関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、このドキュメントまたは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。このドキュメント、または関連の提示物、および SAP SE またはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、および / またはプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE またはその関連会社により随時、理由の如何を問わずに予告なしで変更される場合があります。このドキュメントに記載する情報は、何らかの具体物、コード、または機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なる

ものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。